

真誠

学校だより
No.9
西東京市立
田無小学校
令和6年
1月9日

令和六年を迎えて

校長 前田 元

新たな年を迎え、田無小の三学期が始まります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

令和五年は、開校百五十周年の節目の年として、周年を意識した取組を数多く実施いたしました。十一月には記念式典を多くの御来賓をお迎えして行うことができました。十二月には学習発表会として、西東京ふるさと探究学習の成果を各学年の実態に即して発表することができました。さらには、子どもフェスティバル、バルーンリリースと昨年度とは違う一年間の活動となりました。

では、今年は、どうなっていくのでしょうか。断定的なことは何も言えません。それでも、昨年、子どもたちが見せてくれた素敵な笑顔が、もっともっと増えるように工夫を続けていくことはできると思っています。少しでも工夫して、子どもたちが輝いて、楽しく学ぶことができる田無小でありたいと思っています。

その一つとして、もっと楽しい授業づくりを進めていきたいと思っています。私は、学ぶことは楽しいものだと思います。私自身、未だに授業づくりに関する研究会に身を置き、楽しい授業を作るための学びを続けていま

すが、新たに気付くことがあるたびにワクワクする気持ちを抱きます。

こんなことがありました。以前勤めていた学校で、後輩の教員に、「子どもたちを笑顔にするために、授業中話をするときは、もっとミュージカルのように演技をした方がいいよ。」とアドバイスをしました。すると、その後輩は「じゃあ、にんじん役者を目指します。」

と言いました。真意を尋ねると、「私は、先生の言う演技は、照れてしまっただけでできないので、大根役者の手前のにんじん役者から始めてみます。」

このことでした。私は、そのユーモアに大いに感心するとともに、「この先生の次の授業はきっと楽しいものになるだろうな。」

と思いましたが、事実、その先生の授業は子どもたちの笑顔と楽しそうに活動する様子であふれた素敵な授業になっていました。

我々、子どもたちの指導に当たる者の考え方や、取り組み方ひとつで授業は見違えるほど楽しいものになります。

そのための工夫はたくさんできると思っています。

手始めににんじん役者がそろった田無小学校から始めていきたいと思

います。この原稿を書いている今、冬の穏やかな日差しが校長室に差し込んできます。ですが、校庭も校舎内もひっそりとしていて、寒ささえ感じます。

ある人が

「学校は学びの場だ」と言いました。その通りですが、その学びは、子どもたちの笑顔があふれる教室で行われてこそだと思います。

「やっぱり学校には、子どもたちの笑顔がなきゃ」と感じることもできる田無小学校の一年でありたいと願っています。

一月の主な行事予定

31	29	27	26	25	22	19	18	15	12	11	10	9
水	月	土	金	木	月	金	木	月	金	木	水	火
午前授業	市児童作品展終	学校公開・土曜時程 食育授業地区公開講座 ①高②低③中④講演会 校内書写展終	市児童作品展始	理科見学(4)	クラブ クラブ見学(3) 短なわキャンペーン始 校内書写展始	がん教育(6) 校外学習(わ)	避難訓練(不審者対応)	計測(わ) 音楽鑑賞教室(5)	計測(2・4)	社会科見学(5) 計測(3)	安全指導 給食始 委員会活動 午前授業(1234わ) 計測(1・5)	始業式 午前授業 計測(6)

※今月のスクールカウンセラー来校日は12日、19日、26日で
込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)

学習発表会を終えて

学習発表会担当 山口 真理

十二月一日(金)・二日(土)に学習発表会を行いました。今年、田無小学校が開校百五十周年という特別な年ですので、田無の地域に目を向けた「ふるさと探究学習」に関わる内容を中心に、発表をしました。田無小では初めての学習発表会ということで、子どもたちと一緒に「どんな発表ができるかな。」と考えながら、どの学年も一歩一歩手探りで進めました。そして、体育館という大きな舞台で大勢の人に伝えるために、子どもたちは、主体性をもって友達と協力しながら練習に取り組みました。ステージの上で一生懸命に伝えようとする姿は、どの子も輝いていました。

学習は発表して終わりではなく、これからも続いていきます。三学期も、学習発表会で学んだことを生かしてさらに成長して行ってほしいと願っています。保護者の皆様には、鑑賞の人数制限など、たくさんのご理解とご協力をお願いいたします。

子どもフェスティバル

特別活動部 谷本 絵里奈

代表委員会の児童から「子どもフェスティバルをやりたい！」という声があり、今年【百五十周年記念】として、四年ぶりに子どもフェスティバルを開催することになりました。

三年生以上の学級がやりたいお店の希望を出し、代表委員が内容を調整しました。準備期間が短かったのですが、各クラス、内容や、ゴミをあまり出さない工夫を考えてお店を準備しました。お客さんとしてまわった一・二年生も、上級生の説明をよく聞いて、参加することができました。

子どもたちが自分たちで考え、自分たちで運営する楽しさを味わう、とてもいい機会となりました。



短なわキャンペーン

体力向上部 高木 博幸

一月二十二日(月)から二月一日(木)にかけて、短なわキャンペーンを行います。これは、寒くなる冬場にも、日常的に運動に親しみ積極的に体を動かすことをねらいとする取組です。キャンペーン期間中は、中休みに全校でなわ跳びを行います。

なわ跳び運動は、手軽にできて、確実に進歩し、回数の増加や技の獲得などを自ら把握できるという特徴があります。子どもたちが進んでなわ跳び運動に取り組み、運動の楽しさや課題を達成する楽しさを味わい、自主的に取り組むのに最適な運動だといえます。

「なわとびカード」で技の練習に取り組みとともに、音楽に合わせて様々な技に挑戦していく「リズムなわ跳び」を行い、楽しみながら運動に親しんでいくことにしました。なわ跳びを通して、持久力を高め、健康への意識も育てていきます。

食育授業公開

食育推進部 浅川 瑠海

一月二十七日(土)に、田無小学校の特色ある教育の一つである、「食育」の授業を公開する予定です。毎年、公開授業では、お箸の使い方や食事のマナー、栄養、食品ロスについてなど、いろいろな方向から、発達段階に合わせて工夫した授業を行っています。児童が、食について関心を深めるよい機会になるように考えて授業を行います。

「食育授業」として公開を行うのは年に一回ですが、食に関する指導は、給食指導を中心に日々行っています。今後も、子どもたちが、食に関心をもち、将来も健康で豊かな生活を送るために指導していきます。

食事について考えるとき、何を食べるのかに加え、どのように食べるのかを考えることも大切です。ご家庭でも、折にふれて食について考える時間をもつていただくと幸いです。